

みずほCustomer Desk Report 2022/12/09号 (As of 2022/12/08)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	136.63
TKY 9:00AM	136.39	1.0511	143.35	GBP/USD	1.2212
SYD-NY High	137.25	1.0565	144.32	AUD/USD	0.6725
SYD-NY Low	136.26	1.0489	143.28		
NY 5:00 PM	136.69	1.0555	144.24		
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,781.48	▲183.56	日本2年債	▲0.0100%	0.0000%
NASDAQ	11,082.00	▲123.45	日本10年債	0.2500%	0.0000%
S&P	3,963.51	▲29.59	米国2年債	4.3129%	0.0505%
日経平均	27,574.43	▲111.97	米国5年債	3.7101%	0.0834%
TOPIX	1,941.50	▲6.81	米国10年債	3.4883%	0.0687%
シカゴ日経先物	27,750.00	▲170.00	独10年債	1.8170%	0.0360%
ロンドンFT	7,472.17	▲17.02	英10年債	3.0920%	0.0500%
DAX	14,264.56	▲3.37	豪10年債	3.3370%	▲0.0260%
ハンセン指数	19,450.23	▲635.41	USDJPY 1M Vol	12.91%	▲0.90%
上海総合	3,197.35	▲2.27	USDJPY 3M Vol	12.11%	▲0.39%
NY金	1,801.50	▲3.50	USDJPY 6M Vol	11.56%	▲0.29%
WTI	71.46	▲0.55	USDJPY 1M 25RR	▲1.12%	Yen Call Over
CRB指数	266.40	▲0.51	EURJPY 3M Vol	11.12%	▲0.20%
ドルインデックス	104.77	▲0.33	EURJPY 6M Vol	11.08%	▲0.17%

【昨日の指標等】

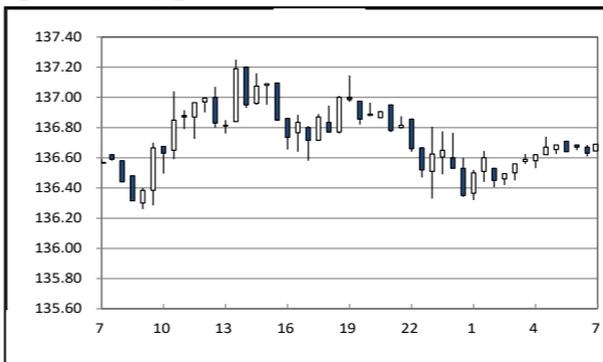
Date	Time	Event	結果	予想
12月8日	08:50	日 GDP(季調済/前期比)・確報	3Q -0.2%	-0.3%
	08:50	日 GDP(年率/季調済/前期比)・確報	3Q -0.8%	-1.0%
	08:50	日 GDPデフレーター(前年比)・確報	3Q -0.3%	-0.5%
	09:30	豪 貿易収支	10月 A\$12217m	A\$12000m
	22:30	米 新規失業保険申請件数	3-Dec 230k	230k

【本日の予定】

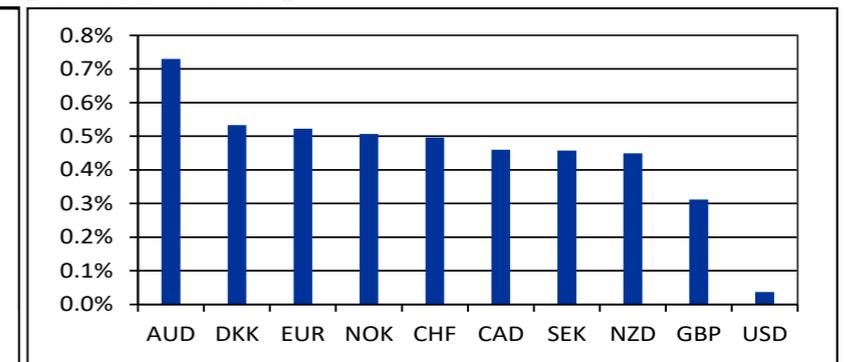
Date	Time	Event	予想	前回
12月9日	22:30	米 PPI(前月比/前年比)	11月 0.2%/7.2%	0.2%/8.0%
12月10日	00:00	米 卸売売上高(前月比)	10月 0.3%	0.4%
	00:00	米 卸売在庫(前月比)・確報	10月 0.8%	0.8%
	00:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	12月 57.0	56.8

東京	ドル円は前日の流れを受けて136.26まで下落後、136.39レベルで東京時間オープン。仲値にかけて実需の売り買いが交錯した後は、まとまったドル買いブームもあってか、137.25まで上昇。新規材料に欠ける中、その後は米金利低下の流れに値を下げ、136.85レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、136.85レベルでオープン。朝方136.58円まで売られると反発し一時137.14円まで上昇するが程なく売り戻されると結局136.67レベルでNYに渡った。目新しい材料に欠ける中で全般的に方向感のない推移だった。
ニューヨーク	海外市場では目立ったニュースも見当たらず、ドル円は方向感のない推移が続き136.67レベルでNYオープン。朝方はやや売りが先行し136.33まで下落するが、米新規失業保険申請件数が予想を一致したこともあり、その後下げ渋り136.80まで戻す。その後は上昇していた米金利が上げ幅を縮小する展開に136.32まで反落するが、新規材料に欠ける中、136.50付近での推移が続く。終盤に掛けた明日のPPI、ミシガン大学消費者信頼感指数でのインフレ期待結果発表を控えドル円は136.74まで戻し、136.69レベルでクローズした。一方、海外市場のユーロドルも、方向感のない推移が続き、1.0519レベルでNYオープン。朝方は狭いレンジでの推移が続くが、米金利が一旦上げ幅を縮小する動きを受けドル売りが優勢となり1.0565まで戻す。午後には1.0550を挟んだ方向感のない推移が続き、1.0555レベルでクローズした。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	135.00-137.00	1.0470-1.0620	143.50-145.00

【マーケット・インプレッション】

東京時間のドル円は136.39レベルでオープン。時間外米長期金利の下げ止まりに加え、仲値にかけての実需のドル買いにもサポートされ、ドル円はじりじりと値を上げ一時137.25まで上昇する場面もあったが、その後は戻り売りに上値重く、海外時間以降も特段目新しい材料もない中、136.60近辺の狭いレンジで推移し、136.69レベルでクローズ。本日のドル円は軟調推移を予想する。市場の興味は現状、「Fedの利上げペース鈍化」であると思われ、本日発表予定の米11月PPI、及び米ミシガン大学消費者マインド速報の結果次第では、米インフレ鈍化が示唆されドル円には下押し圧力が強まりやすいか。他方、来週にFOMC、CPIを控えた週末のポジション調整の動きからドル円は局所的にボラティリティが高まりやすい状況にも警戒しておきたい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 多川